

かやっ子



与謝野町立加悦小学校 研究推進委員会
令和3年6月8日号
自ら考え、関わり、挑戦する児童の育成
～言葉を通した確かな学び～



昨年度に引き続き、「読むこと」に焦点を当てた研究をしています。「主体性を育てたい」「チャレンジする姿を応援したい」「文章を読んで理解する力を高めたい」「やっぱり自ら関わる力が大事」などの思いから、研究テーマを設定しました。「言葉」をキーワードに、読む力の育成を中心とした学力向上を目指していききたいと思います。



「主体的・対話的で深い学び」を目指して

新年度がスタートして早くも6月。学校行事が中止になったり、学習活動にも様々な制限があったりする中、子どもたちは、今できることをできるように工夫して学校生活を送っています。

各教室では、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を目指した授業を行っています。学年が一つ上がり、「どんな学習なのかな。」「ちょっと難しいかな。」など、ドキドキワクワクな気持ちで学習に向かっていることと思います。今年度も「読むこと」の力が向上するよう、様々な取組を行っています。各家庭でも、家庭学習を中心に子どもたちの学習状況を見ていただき、できるようになったことを大いに褒めていただきますようお願いいたします。

～「子ども読書の日」の読み聞かせより～



タブレットを使って絵を拡大しながらの読み聞かせ。お話の世界に引き込まれます。

よい天気だったのでテラスで読み聞かせ。気分が盛り上がります！



「アップとルーズで伝える」～研究授業より～

先日、4年1組で研究授業を行いました。「はじめ・中・終わり」の文章構成のそれぞれの役割を知り、さらに段落の関係を考えしていきます。「アップとルーズで伝える」では具体例が「対比」という形で書かれています。この「対比」のよさや具体例を挙げて説明することのよさに気づき、この学習の最後には、自分が伝えたいことを例を挙げながらスピーチします。学んだことを他の学習や生活に生かす力をつけていきたいです。

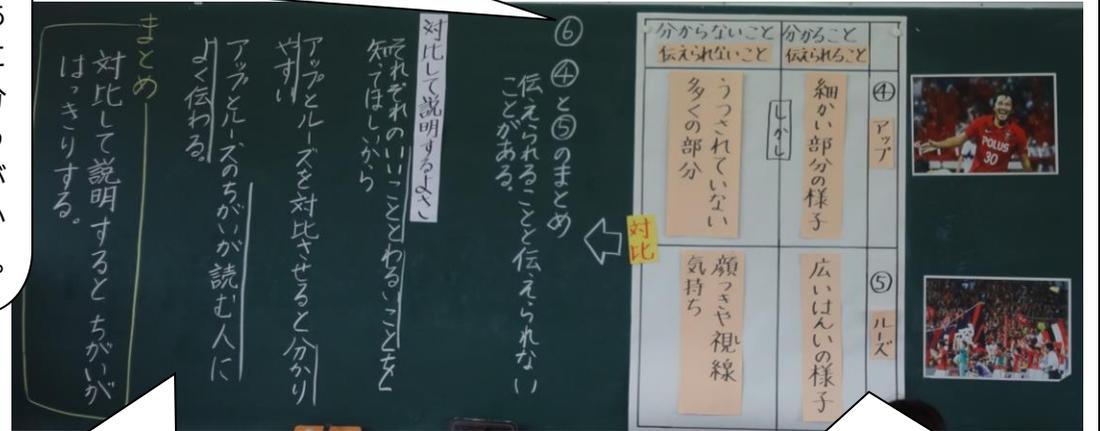


4段落と5段落には何が書いてあるのかな。どちらにも「分かります」「分かりません」という言葉があるよ。何が分かって何が分からないのかな・・・。

筆者は、なぜ「対比」を使って説明しているのかな？考えてみよう。



6段落には「このように」と書いてあるよ。全体をまとめているのかな・・・よく読むと、4・5段落のまとめだと分かるね。



2つの例を比べることで、違いがはっきりするね。

「アップ」と「ルーズ」、それぞれに「伝えられること」と「伝えられないこと」があるんだね。

例を対比させることで、主張がより伝わってくるね。自分たちのスピーチにも使えそうだよ。



たくさんの先生たちが授業を参観しました。放課後に、さらに子どもたちに読む力をつけるにはどうすればよいか、話し合いました。先生たちも、日々勉強です！



